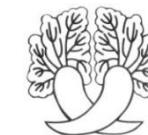


# 慈明院寺報十月号

## 大根と聖天さん



毎年十一月三日は、聖天さん（歡喜天）断ち物祈願法会の日である。参拝者の皆さんに断ち物（断食する食べ物）を紙に書いて頂き、自分で決めた期間（最短三日間～最長一年間）断ち物を聖天さんにお供えするのである。

十一月の聖天断ち物祈願法会では、象の頭の仏様・聖天さんに大根を供える。

大根は聖天さんのシンボルであり、「大根おろしに医者いらす」という言葉があるように、消化を助ける働きを持ち、心身の毒を消し去り、煩惱の毒を除く妙薬として聖天さんの功德を表す。聖天さんと大根はとても縁が深く、インドのヒンドゥー教の神・ガネーシャ（聖天さんのモデルになつた神様）は、他の神様との争いで牙が一本欠けてしまつた。その牙に似せた大根をお供えすると伝えられている。

この聖天さんという神仏は、双身仏という二体の仏様が抱き合つてお姿をしている。



インドのヒンドゥー教の神・ガネーシャはとても乱暴な神様であった。その行いを戒めるために、十一面觀音菩薩が姿を変えて女天のガネーシャとなつて、暴れているガネーシャを抱きしめて

行いを諫めた。それ以来、觀音様の慈悲に感動したガネーシャは、仏教を守る護法神となり、仏教でも信仰されるようになったのである。聖天さんが双身仏となつた由来である。聖天さんのご利益は、夫婦和合や子宝成就、商売繁盛厄除開運など「七代の福を一代で取る」と伝えられる程、強い力で人々の願いをかなえてくれるという。今年最後の厄落としに大根ひとついかがです。

去る九月二十三日（秋分の日）、当院本堂におきまして塔婆供養をお勤めさせて頂きました。塔婆の申し込みを頂きました皆様、誠にありがとうございました。

ご供養させて頂いた塔婆は、納骨堂横の『供養堂』で来年のお施餓鬼まで約一年間、安置奉納致します。ご来寺の際はお参り下さい。

## 聖天様 断ち物祈願法会のご案内



来る令和七年十一月二日（月曜日）文化の日  
『聖天堂』（丸い円形の御堂）に鎮座している大聖歡喜天（通称・聖天さん）をお祀りする法会です。（昼食と聖天様の好物・大根をお接待致します）

## 開山五十周年記念・營繕事業 勸募成満の御礼

令和七年九月末日まで、記念營繕事業のご寄付を檀信徒の皆様にお願いしておりました。お陰様で勸募目標金額を集めさせて頂く事ができました。紙面を借りて、ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。現在、大師堂の營繕工事を進めています。ご寄付頂きました皆様には、十一月頃に改めて御礼と返礼品をお届けしたいと思います。

住職 九拝



慈明院（じみょういん）  
TEL（092）804-4570 FAX（092）804-4605  
住職・吉住大慈 携帯電話090-1(528)-7494